

# あおやまうたのいえ ミュージアム 青山讃頌舎

## オープン

4月22日(水)に伊賀市ミュージアム青山讃頌舎がオープンします。今回は、そのミュージアムの紹介と、なぜこの施設が必要なのか、皆さんに紹介します。

【問い合わせ】 文化交流課  
☎ 22-9621 FAX 22-9619  
✉ bunka@city.iga.lg.jp



▲純日本建築の展示室入り口



▲展示室中庭のシンボルツリー

### ミュージアム

### 青山讃頌舎って？

この建物は、青山の風景をこよなく愛した日本画家、あきつきあき 穂月明さんによって建てられました。

穂月さんが亡くなられたあと、ご遺族から市に寄贈され、このたび伊賀市で初めての美術作品専用の展示施設として開館します。

今後は、穂月さんの作品展のほか、穂月さんが収集した多くのコレクション展、伊賀にゆかりのある作家の作品展などを予定しています。

### 伊賀市文化振興ビジョン

昨年7月、文化芸術を通して、市民が豊かに暮らせる、活力ある伊賀市をつくるため、伊賀市文化振興ビジョンを策定しました。

「誰もが文化芸術に触れ合える機会の創出」、「子どもたちが文化芸術を体感できる機会の拡充」、「施設の整備・有効活用による、文化芸術環境の整備」などが基本方針です。

### 文化振興ビジョンを

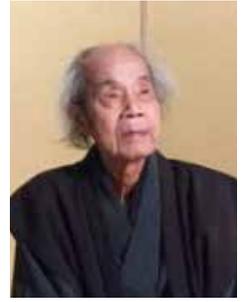
### 実現するために

伊賀市は古くから文化芸術の活動が盛んで、松尾芭蕉をはじめ、多くの芸術家を輩出してきました。しかし、その芸術家・作家の作品を保管・継承する取り組みが不十分で、展示する専用施設はありませんでした。

そこで、ミュージアム青山讃頌舎を通して、年齢や職業、文化芸術活動を行っているかどうかなどに関係なく、誰もが文化芸術を身近に感じる機会を提供します。

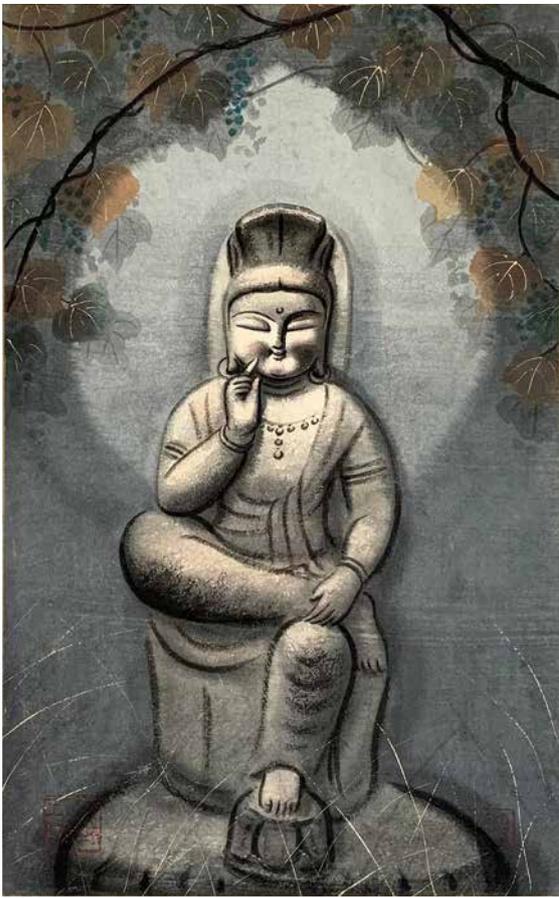


## 穂月明さんってどんな人？



1929年、和歌山県高野山で生まれ、京都市立美術専門学校（現京都市立芸術大学）で日本画と洋画の基礎を学ぶも、水墨画に魅せられて、独習で水墨画の道に入りました。

旧青山町の風景をこよなく愛した穂月さんは、1981年に移住し、2016年には「東洋文化資料館青山讃頌舎・美術館」を開館しました。2017年没。

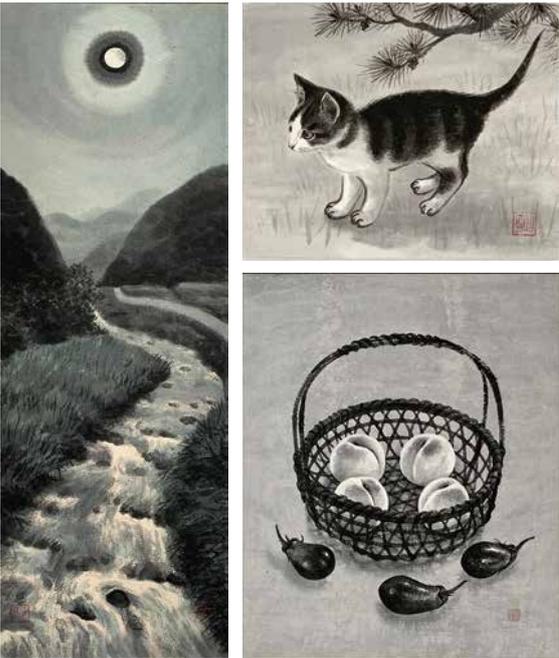


## 穂月さんの作品の特徴

穂月さんの作品には、菩薩像や野の仏などの仏画をはじめ、風景や動物、花などのさまざまな水墨画があります。

その中でも、寺で生まれ育った穂月さんにとって仏画は特別なテーマでした。優しく微笑む阿弥陀如来や弥勒菩薩など、多くの仏画を描き、その独自の画風は今でもたくさんの方ファンを魅了しています。

4月22日㈫から始まる春の特別展でも、仏画をはじめ、墨一色でありながら、みずみずしく描かれた花や果物など、穂月さんの作品を代表する作品が展示されます。穂月さんの作品を見に、ぜひお越しください。



## 今後のスケジュール

### ◆記念式典

4月22日㈫ 午前10時～

### ◆記念講演

4月25日(土) 午後1時30分～

演題：「穂月明というという画家」

講師：(一財) 東洋文化資料館

青山讃頌舎

理事長 穂月大介さん

### ◆春の特別展

「穂月明名作選 やすらう世界」

温かでやさしい穂月さんの「やすらう世界」をご堪能ください。

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、日程を変更する場合がありますので、事前にご確認ください。

【と き】 4月22日㈫～6月28日㈫

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、日程を変更する場合がありますので、事前にご確認ください。

## 将来に向けて

ミュージアム青山讃頌舎を伊賀市における美術作品の中心的な展示施設としてつづつ、他の施設との連携などにより、文化芸術の振興を図ります。文化芸術に触れる機会を得ることは、創造力や共感性など、未来を築く力をつけるのに大きな効果があります。

市ではそういった場をつくり、「ひと」と「まち」を育て、心豊かな社会の実現をめざします。

## ◆ミュージアム青山讃頌舎

### 【休館日】

火曜日・年末年始・展示替え期間

### 【開館時間】

午前10時～午後4時30分

※入館は午後4時まで

### 【料金】

一般：300円 高校生以下無料

団体：200円 10人以上

## ◆アクセス



【所在地】 伊賀市別府 718-3  
近鉄青山駅から徒歩 15分